

## 記事内容

- ☆2025春季生活闘争
- ☆2025春季生活闘争の具体的な活動予定
- ☆2025新春のつどい
- ☆2025新春のつどいフォトギャラリー
- ☆組合役員教育プログラム/  
災害ボランティア救援隊員研修(ARCS)
- ☆再配達削減推進に向けた駅頭街宣活動
- ☆2月の行動日程/医療生協さいたまお知らせ
- ☆あけぼのビル

## 2025春季生活闘争

メインスローガン: みんなでつくろう! 賃上げがあたりまえの社会  
サブスローガン : みんなでつくろう! 働く仲間の労働組合

## 連合埼玉の取り組みの考え方

連合埼玉では、「底上げ」「底支え」「格差是正」の取り組みの継続と「すべての労働者の立場にたった働き方」の改善に向け、連合「2025春季生活闘争方針」に沿った下記の内容について、街宣行動などをつうじた世論喚起(社会運動)および中小地場組合を支援する活動を推進する。これにより県内の未組織労働者や非正規労働者を含むすべての労働者への波及をはかる。

## 「賃金水準の追求」の取り組み

2024 闘争では33年ぶりの5%台の賃上げが実現したものの、生活が向上したと実感している人は少数にとどまり、個人消費は低迷している。多くの人が生活向上を実感し、将来への希望と安心感を持ってこそ、賃金、経済、物価を安定した巡航軌道に乗せることができる。そのためには、物価を安定させるとともに、2024闘争における賃上げの流れを定着させ、賃上げのすそ野を広げていく必要がある。

今次闘争については、「未来づくり闘争」を進化させ転換点となる闘争とすべく、「けん引役」を果たす闘争にしなければならない。

取り組みの中では、中小・地場組合の交渉支援と地域レベルでの賃金相場の形成と波及、情報発信に打ち込む。また、「底支え」「格差是正」の取り組みを強化し、企業内最低賃金協定の締結や締結水準の引き上げに取り組む。

中小組合の賃上げに向けては、連合「地域ミニマム運動」をつうじて、地域における賃金相場の形成に積極的に参画する。また、企業規模間格差の是正を進めるためには、サプライチェーン全体で生み出した付加価値の適正分配や適切な価格転嫁によるサプライチェーン全体でのコスト負担が必須である。労働組合の立場からも、「パートナーシップ構築宣言」の更なる拡大に向け、経営者団体および行政機関と連携し、社会全体への情報発信による世論形成に取り組む。

## 「すべての労働者の立場にたった働き方」の見直し

「働くことを軸とする安心社会」の実現に向け、豊かな生活時間とあるべき労働時間の確保、すべての労働者の雇用安定、均等・均衡待遇実現、人材育成と教育訓練の充実などに向けた取り組みも進めていく。

## 運動の両輪としての「政策・制度実現の取り組み」にむけて

「2025年度重点政策」の実現を春季生活闘争における労働諸条件改善の取り組みとともに運動の両輪として推し進める。具体的には、「働くことを軸とする安心社会～まもる・つなぐ・創り出す～」の実現に向けた政策課題について、地方からも世論喚起などをおこなう。

## 2025春季生活闘争



みんなでつくろう!  
賃上げがあたりまえの社会

## 連合埼玉の取り組み

1. 先行組合の要求状況や交渉経過を、街宣行動や経営団体への要請をつうじて伝えることで、未組織労働者や中小地場組合も含めたすべての働く仲間に、「底上げ」「底支え」「格差是正」と「誰もが安心・安全に働くことのできる環境整備」を広く波及できるよう取り組む。また、各地域においては地域協議会と連携した展開をはかる。
2. 中小地場組合の交渉支援として、県内の経済情勢の解説、要求根拠や要求水準の考え方、交渉戦略などをテーマに春季生活闘争パワーアップセミナーを開催する。
3. 埼玉県ミニマム賃金や企業内最低賃金の位置づけなどを幅広くPRすることで、県内の賃金相場の形成および「底上げ」「底支え」「格差是正」の必要性を訴える運動につなげていく。
4. 春闘方針や交渉状況などの情報を加盟組合と共有し、共闘の強化をはかる。

## 具体的な活動予定

### 1) 春季生活闘争パワーアップセミナーの開催

日時: 1月26日(日)・2月1日(土)  
 場所: 20日: さいたま共済会館501会議室  
 27日: ときわ会館  
 内容: 連合春闘方針、連合白書、経済情勢  
 経営分析について

### 2) 世論喚起街宣行動

- ①1次行動 春闘開始宣言  
 日時: 2月4日(火) 18:00～  
 場所: 大宮駅(東口)  
 参加者: 連合埼玉執行部
- ②2次行動 ミニマム賃金/交渉状況アピール  
 日時: 3月6日(木) 18:00～  
 場所: 大宮駅(東口)  
 参加者: 連合埼玉執行部
- ③4次行動 中小・地場組合解決促進アピール
  - ③-1 全体  
 日時: 4月8日(火) 18:00～  
 場所: 大宮駅(東口)  
 参加者: 連合埼玉執行部
  - ③-2 地域ブロック  
 日時・場所: 4月11日(金) 川越駅(東口)  
 4月15日(火) 南越谷駅(南口)  
 4月17日(木) 川口駅(東口)  
 4月18日(金) 熊谷駅(北口)  
 各18:00～  
 参加者: 連合埼玉事務局  
 各ブロック担当副会長・執行委員  
 各ブロック地域協議会
- ④連合アクション街宣行動  
 日時: 2月27日(木) 18:00～  
 場所: 大宮駅(東口)  
 参加者: 連合埼玉執行部

### 3) 世論喚起駅頭行動(各地域協議会)

- ①1次行動 春闘開始宣言街宣行動  
 日時: 2月5日(水)～26日(水)  
 場所: 県内各駅頭もしくはポスティング  
 参加者: 各地域協議会
- ②2次行動 ミニマム賃金アピール  
 日時: 3月5日(水)～21日(金)  
 場所: 県内各駅頭もしくはポスティング  
 参加者: 各地域協議会

### 4) 「底上げ」「底支え」「格差是正」およびミニマム賃金に関する要請行動

- ①経営団体への要請行動(連合埼玉)  
 日時: 3月10日(月)～25日(火)  
 要請先: 埼玉県経営者協会、埼玉県商工会連合会、  
 埼玉県商工会議所連合会、埼玉県中小企業  
 団体中央会、埼玉中小企業家同友会など  
 参加者: 労働政策委員長、連合埼玉事務局
- ②商工会などへの要請行動(地域協議会)  
 日時: 3月5日(水)～21日(金)  
 要請先: 各地域商工会議所など  
 参加者: 地域協議会三役など

### 5) 春闘情報の共有化による共闘強化

- ①春闘方針・連合埼玉ホームページなどを利用した情報提供  
 提供先: 構成組織、地域協議会  
 (一般に公開できる情報は広く開示する)

!!! **みんなであつくりよう!**  
**賃上げ**があたりまえの社会

連合埼玉 「2025新春のつどい」

## 2025春闘で継続した賃上げ 賃上げがあたりまえの社会に変える

～参議院議員選挙に向けて、全候補予定者の当選に全力を尽くす～

1月8日(水)ときわ会館にて、「連合埼玉2025新春のつどい」を開催しました。

ご来賓には大野埼玉県知事をはじめ、推薦首長を代表して地元市長の清水さいたま市長、福祉事業団体を代表して労福協の近藤理事長、片淵労働局長、埼玉県経営者協会 原会長、政党代表(立憲民主党、国民民主党、無所属)の皆様をお招きし、ご挨拶を頂戴しました。

主催者代表挨拶として平尾幹雄会長から、「昨年の春闘では、33年ぶりの5%台の賃上げが実現し「ステージ転換」に向けた大きな一歩を踏み出しました。一方で、大手組合と中小組合の賃上げ率の格差が拡大したことも事実です。このような結果を踏まえ、物価高が家計を圧迫している中で、中小企業・小規模事業者に必要な価格転嫁・適正取引が進んでいない状況から、賃上げの流れが十分に波及していない状況にあります。

そして、今年の2025春闘では、四半世紀に及ぶ慢性デフレに終止符を打ち、動き始めた賃金、経済、物価を安定した巡航軌道に乗せる年にしなければならぬと考えています。

そのために、今年の春闘でも、昨年に引き続き、5%以上の賃上げを継続して要求しながら、この四半世紀におよぶ「賃金も物価も上がらない」という、意識の壁である、社会的規範(ノルム)を「賃金も物価も上がる」という新しいノルムに変えていく必要があります。

そして、大手企業と中小企業の格差是正のためにも、中小企業の皆さんにも、賃上げをおこなって頂く必要があります。引き続き、労務費を含めた適正な価格転嫁を進めていくことも、強く訴えていきたいと思えます。

2つ目は、今年の7月に予定されています、第27回参議院議員選挙についてです。すでに、組織内候補を擁立している構成組織においては、残り半年と



主催者挨拶: 平尾幹雄 会長

なった中で、比例代表の組織内候補者の周知徹底、支持者拡大に向けて、全力で取り組んでいます。

さて、このような状況の中で、連合埼玉では、埼玉選挙区の候補予定者の推薦については、昨年5月8日に開催された、2024年度第6回執行委員会で、現職の立憲民主党の熊谷裕人参議院議員を推薦候補予定者として、推薦確認しました。そして、本日の執行委員会において、国民民主党埼玉県総支部連合会より、現埼玉県議会議員の江原久美子氏の推薦依頼があり、推薦候補予定者としての推薦確認をおこないました。

私たちが、これまで、準備や努力を積み重ねてきた連合運動である、「継続した賃上げ」や「仲間づくりの組織拡大」そして「政策・制度の実現」の取り組みが、実を結び、より大きく変化、成長していく年となることを祈念すると共に、各組織・団体の益々の発展と本日ご参会いただきました皆様のご健勝・ご多幸をご祈念申し上げまして、挨拶に代えさせていただきます。今年一年、どうぞ宜しくお願い致します。」と挨拶がありました。

その後、会長並びに来賓による鏡開きと楠本副会長の発声による乾杯をおこないました。

歓談最中、お楽しみ抽選会を実施し、副会長、会長に抽選していただき会場が大いに盛り上がりました。

最後に今井副会長による閉会挨拶にて、「2025新春のつどい」を閉会しました。

# 「2025新春のつどい」フォトギャラリー



## 来賓あいさつ



大野元裕  
埼玉県知事



清水勇人  
さいたま市長



近藤 嘉  
埼玉労協理事長



片淵仁文  
埼玉労働局局長



原 敏成  
埼玉県経営者協会会長



立憲民主党  
埼玉県総支部連合会  
小宮山泰子衆議院議員



国民民主党  
埼玉県総支部連合会  
岸田光広衆議院議員



上田清司  
参議院議員



熊谷裕人



江原久美子

第27回参議院議員選挙候補予定者



推薦・友好首長の皆さん



福祉事業団体の皆さん



鏡割り



乾杯 楠本副会長



推薦国会議員の皆さん



抽選会の様子



閉会 今井副会長



## 組合役員教育プログラム ～2025実務講座を開催しました～

組合役員教育プログラムは、各労働組合の活動の活性化を目的として、2012年9月に開講し、12年経過しています。

2025年度の教育プログラムも2025年1月18日(土)から開始されました。第1回目の講座は、あけぼのビル501会議室にて、実務講座が、各構成組織より26名の参加にて開催されました。ご参加いただきました皆様に、心より感謝を申し上げます。

まず、セミナーの冒頭、主催者を代表して前原委員長より、ご挨拶をいただきました。

その後、j.union株式会社 専属講師 池上 元規氏より、『実務講座⑨三六協定の実務(時間外労働と休日労働)』を実施しました。

セミナーは、「組合員にとって最も重要な労働時間や時間・休日労働・代休・振休・手当について理解する」をテーマに実施しましたが、セミナー冒頭、講師より学習効果を高めるために楽しんで受講頂きたい事、受講者同士のつながりを作ってほしい事が話されました。セミナーはグループワークを中心に受講者の組織事情等の共有を中心に進められました。

教育プログラムでも特に実務講座は、この春闘時期に合わせ、交渉で必要となる知識を中心にプログラムを構成し、実践にいかしていただくべく計画しています。今後も、是非奮ってご参加ください。



主催者あいさつ



講師 池上 元規氏



会場の様子

## 災害ボランティア救援隊員研修(ARCS)

1月18日(土)さいたま市にある、JAM埼玉友愛会館にて、2025年度新規隊員研修会(初級編)を開催しました。受講者は27名と多くの方に参加していただきました。

研修Ⅰとして、講師にJAM北関東福祉委員会事務局の木村様から「災害ボランティアの基礎について」と題し、防災と減災やボランティアの心構えなどを

講義いただきました。

その後、JAM北関東福祉委員会事務局の鈴木様からは、令和6年能登半島地震の災害復旧支援ボランティアに参加した体験談を交え、ご講演いただきました。

研修Ⅱとして、さいたま市消防局警防部救急課の方をお招きし、人工呼吸のやり方や心臓マッサージ、AEDの使用方法などを学びました。



心臓マッサージを教わる受講生



心臓マッサージを実習風景



AEDの使用実習

「男女平等参画,ジェンダー平等の推進,均等待遇,仕事と生活の調和(ワークライフバランス)」に向けた標語優秀賞

◇多様性は可能性 認めていこう みんなの個性

(印刷労連関東北部甲信越地方協議会 凸版印刷労働組合・西端 孝徳)

※2024年度 ジェンダー平等・多様性推進に向けた「トップリーダー宣言」、標語については、連合埼玉ホームページにも掲載されています。

## 再配達削減推進に向けた駅頭街宣活動

～宅配を1回で受け取ろう!キャンペーン～

1月21日(火)18時より、浦和駅東口駅頭において、再配達削減推進に向けた「宅配を1回で受け取ろう!」駅頭街宣活動について街頭宣伝行動をおこないました。

冒頭、平尾会長より挨拶と共に、駅前の傾聴者へお訴えをさせて頂きました。

「国土交通省からの発表によると、全国で、2023年度の取扱い個数は、約51億個にのぼり、過去最高を更新しました。一方で、再配達率については、2023年度のデータでは、11.1%と、約1割の荷物が再配達となっております。そして、このような再配達による、ドライバーの労働力は、年間約6万人にのぼる状況になっています。

このような状況の中で、昨年2024年には「働き方改革関連法」によりトラック運送業界での時間外労働時間の上限規制が導入され、長時間労働の削減が進む一方で、ドライバーの人手不足が深刻化しています。また再配達の増加は、CO2の排出量増加にもつながり、地球温暖化の原因ともなっています。

そして、国からの報告によると、このままの状況が続くと、何ら対策を行わなかった場合に、輸送能力が2030年度には34.1%不足するという可能性を指摘しております。

このような社会課題に対して、持続可能な物流の確保のためには、物流事業者だけの課題にするのではなく、行政や荷主や消費者、関係団体等が連携をし、商慣行の見直しや、物流業務の効率化、荷主と消費者の行動変容に向け、社会全体で取り組んでいく必要があります。

そのために、埼玉県では、「強い経済の構築に向けた埼玉県戦略会議」において、私たち労働者の団体を含む社会を構成する、「産・官・学・金・労」の各界の団体に加えて、消費者団体、物流団体、主要な物流事業者など、23団体の皆様とともに、物流の問題を我が事(こと)としてとらえ、埼玉の持続可能な物流の確保に向け、関

係者が連携して取り組んでいく「埼玉の持続可能な物流の確保に向けた共同宣言」をおこないました。

私たち労働団体も一緒になって、今回の「持続可能な物流の確保に向けた共同宣言」により、働く仲間の労働組合としても、積極的に取り組んでいくことを確認しております。

そして、今回、宣言した23団体の皆様とともに、「持続可能な物流の確保に向けた共同宣言」により、「ホワイト物流」推進運動をおこなっています。

その推進運動のポイントとしては、1つは、トラック輸送の生産性の向上と物流の効率化、もう一つは女性や60歳以上の運転者等も働きやすい、より「ホワイト」な労働環境の実現を目指して、それぞれの荷主・物流事業者等の団体で、それぞれの立場で取り組むことを確認しました。

その取り組みを推進する上で、物流の生産性向上や、ドライバーの長時間労働の削減、そしてCO2排出量の削減などに、効果が期待される取り組みが、本日の「宅配を1回で受け取ろう!」の取り組みです。

宅配を1回で受け取るために具体的には、まず、配達日時を指定して、受け取って頂きたいと思えます。しかし、配達日時指定しても、当初の予定通りにならないケースがあると思えますが、最近多くなってきました置き配を指定して頂きたいと思えます。さらには、近くのコンビニ、駅、スーパーなどの宅配ロッカーを利用して、宅配を1回で受け取る取り組みにも、ご協力をお願いしたいと思います。」と訴えをさせて頂きました。

その後、「物流業界を取り巻く状況」について、物流業界の構成組織組合員からの県民への訴えをし、最後に連合埼玉より「再配達削減推進に向けた宣言文アピール」を読み上げ、浦和駅東口駅頭での街宣活動は終了しました。



平尾会長



佐藤事務局長  
(JP労組埼玉連絡協議会)



高場書記長  
(埼玉交通労働組合)



迫副事務局長  
(連合埼玉)



現在予定される2月の日程表です

2月	行事等	
	連合埼玉・事務局	地協・産別・労福協・福祉事業団体・県・上部・外部団体
1日 土	①パワーアップセミナー(10:00~16:30・ときわ会館) ②組合役員教育プログラム・実務講座③(14:00~・あけぼのビル501)	
2日 日		
3日 月		強い経済の構築に向けた埼玉県戦略会議(10:15~・知事公館)
4日 火	①第3回四役・執行委員会(10:00~/13:00~・ときわ会館) ②2025春闘開始宣言(18:00~・大宮駅東口)	
5日 水	①組合役員教育プログラム・実務講座④(14:00~・あけぼのビル501) ②第1回地協再編検討委員会(18:00~)	①こくみん共済coop「第439回理事会」「第4回代表委員会」 (13:30~/14:00~・こくみん共済coop埼玉推進本部) ②埼玉就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム(14:00~・埼玉労働局)
6日 木	①シニア連合「第2回四役会議」「第2回幹事会」(13:00~/14:00~・連合埼玉会議室) ②女性委員会第2回幹事会(18:30~・連合埼玉会議室)	①埼玉労働局公労使会議(10:00~・ホテルプリランテ武蔵野) ②中央労働金庫 埼玉県本部 運営委員会/県全体会議 (14:00~・THE MARK GRAND HOTEL)
7日 金		①埼玉労福協 防災セミナー(13:30~・ときわ会館) ②比企地域協議会「労働講座」(17:00~・ガーデンホテル「紫雲閣」) ③令和7年北方領土返還要求全国大会(終日・ニッショーホール港区虎ノ門)
8日 土		自治労埼玉県本部「臨時大会」(未定・さいたま共済会館)
9日 日		
10日 月		
11日 火		
12日 水		連合関東ブロック連絡会「政策担当者会議」(PM・連合東京会議室)
13日 木	連合全国一斉集中労働相談ホットライン	①第2回埼玉県女性活躍推進連携会議(10:00~・WEB) ②連合「同一労働同一賃金」学習会(第2回)(10:30~・WEB) ③令和6年度「第2回役員会・総会」「第40回北方領土返還要求埼玉県民大会」 (14:00~・あけぼのビル501) ④本庄・児玉地域協議会 第1回幹事会(18:30~・本庄市はにぼんプラザ)
14日 金	連合全国一斉集中労働相談ホットライン	①令和6年度第2回埼玉県ケアラー支援に関する有識者会議(9:00~・WEB) ②令和7年2月審査運営協議会(15:00~・北関東地域審査事務センター) ③朝霞東入間地協第1回幹事会(18:30~・日本梱包運輸倉庫労組)
15日 土		
16日 日		
17日 月		立憲民主党埼玉県連「新春のつどい」(18:00~・ホテルプリランテ武蔵野)
18日 火		
19日 水		①埼玉労福協「第5回地域労福協代表者会議」「政策会議」 (13:30~/15:00~・こくみん共済coop 埼玉推進本部) ②埼玉県カスタマーハラスメント防止対策の検討に関する専門委員会 (14:00~・浦和区内会議室)
20日 木	ネット21「第7回運営委員会」(10:00~・連合埼玉会議室)	
21日 金		埼玉県生産性本部「2024年度第2回定例理事会」「新春シンポジウム」 (13:45~/15:30~・大宮ソニックシティ)
22日 土		
23日 日		
24日 月		
25日 火		
26日 水	官公労部門・公務労協「第3回幹事会」(18:30~・連合埼玉会議室)	
27日 木	全国一斉 連合アクション行動2.27(18:00~・大宮駅東口ロータリー)	
28日 金		①高齢者活躍人材確保育成事業連絡会議(14:00~・埼玉会館6F) ②フードバンク埼玉「第3回理事会」(15:00~・ワークスコープ埼玉事業本部)

つながりで助け合い、支え合う

## くらしサポーター制度

医療生協さいたまの「くらしサポーター制度」は、暮らしのなかの困りごとを組合員どうしで助け合う、有償ボランティア制度です。現在、県内20自治体で実施しています。

**実施自治体**      さいたま市、上尾市、桶川市、川口市、蕨市、草加市、朝霞市、新座市、ふじみ野市、富士見市、三芳町、川越市、所沢市、飯能市、狭山市、行田市、羽生市、熊谷市、深谷市、秩父市

利用料金 **60分 700円**  
※はじめは60分未満でも700円となります。

60分以上については、  
30分延長ごとに350円となります。  
※交通費が生じる場合は実費をご負担頂きます。

食事づくり

掃除

洗濯

通院の付き添い

買い物

草取り

話し相手  
見守り

などの  
お手伝い  
をします

実施自治体では、地域で困っている方のためにお手伝いするサポーターも募集しています。(活動費は60分700円をお渡します) 医療生協に加入していない方もご相談ください。

**お問い合わせ・お申込み**  
医療生協さいたま 本部 くらしサポーター事務局 ☎048-296-8692 (月~金曜日 9:00~17:00)

**医療生協さいたま** 〒333-0831 埼玉県川口市木曾呂1317



#### ◆第27回参議院議員通常選挙に向けて!

今年度に入り、本年7月施行予定の「第27回参議院議員通常選挙」における連合推薦候補予定者の顔ぶれが出揃い、各陣営の活動が活発化してきます。

連合埼玉では、これまでに各政党や構成組織・地域協議会などと連携を図り、下記のとおり推薦候補予定者を決定してきました。

まず、埼玉選挙区においては、2024年5月8日に開催した「第6回執行委員会」にて、

#### ○立憲民主党公認 熊谷 裕人(現職1期)

の推薦を確認しました。

その後、2025年1月8日に開催した「第2回執行委員会」にて、

#### ○国民民主党公認 江原 久美子(新人)

の推薦を確認しました。

今次、埼玉選挙区選挙(定数4)には、改選を迎える現職候補(自民党/古川氏、公明党/矢倉氏、立憲民主党/熊谷氏、共産党/伊藤氏に加え、国民民主党、日本維新の会、参政党などからも候補者の擁立が決定・模索されており、大変厳しい戦いになることが想定されています。

第25回参議院議員通常選挙における4番目の当選者の得票数は359,297票、第26回における4番目の当選者の得票数は444,567票となっており、最低でも35~40万票の得票を獲得しなければ、当選を果たすことは難しいと考えています。

特に、国民民主党公認 江原氏については、選挙までの残された期間が半年余りであり、人の2倍、3倍以上の活動をおこなっていただくことを強く要望する。

#### 【第25回参議院議員通常選挙結果(埼玉)】

	候補者名	政党名	獲得得票数
当	古川 俊治	自由民主党	786,479
当	熊谷 裕人	立憲民主党	536,338
当	矢倉 克夫	公明党	532,302
当	伊藤 岳	日本共産党	359,297
	穴戸 千絵	国民民主党	244,399

一方、比例代表選挙区においては、

#### ○OAゼンセン 田村 麻美

国民民主党(現職1期)

#### ○自動車総連 磯崎 哲史

国民民主党(現職2期)

#### ○自治労 岸 真紀子

立憲民主党(現職1期)

#### ○JAM 郡山 玲

立憲民主党(新人)

#### ○JLP労組 小澤 雅仁

立憲民主党(現職1期)

#### ○日教組 水岡 俊一

立憲民主党(現職3期)

#### ○電力総連 浜野 喜史

国民民主党(現職2期)

#### ○情報労連 吉川 沙織

立憲民主党(現職3期)

#### ○私鉄総連 森屋 隆

立憲民主党(現職1期)

#### ○電機連合 平戸 航太

国民民主党(新人)

以上の10名が出揃いました。

先に執行された「第50回衆議院議員選挙」では、目標として掲げた「与党を過半数割れに追い込み、今の政治をリセット」することを一定程度達成し、一部の野党で大躍進を果たす結果となりましたが、直近2回の政党別獲得議席数を見ると、今次選挙でも立憲民主党は7議席前後、国民民主党は3議席前後が予想されています。

#### 【第25回参議院議員通常選挙結果(比例区)】

政党名	立候補者数	獲得議席数	得票総数
自由民主党	33	19	17,711,862.34
公明党	17	7	6,536,336.83
立憲民主党	22	8	7,917,719.95
国民民主党	14	3	3,481,053.40
日本共産党	26	4	4,483,411.27
日本維新の会	14	5	4,907,844.39

#### 【第26回参議院議員通常選挙結果(比例区)】

政党名	立候補者数	獲得議席数	得票総数
自由民主党	33	18	18,256,245.41
日本維新の会	26	8	7,845,995.35
立憲民主党	20	7	6,771,945.01
公明党	17	6	6,181,431.94
日本共産党	25	3	3,618,342.79
国民民主党	9	3	3,159,625.89

自民党に対する逆風、野党に対する追い風がいつまで続くのかは未定であり、これまでに取り組んできた活動の積み上げしか票にはつながらないと考えています。

今次、「第27回参議院議員通常選挙」は、政権交代に向けた重大なステップであると認識しています。

2009年の政権交代を振り返ると、2007年に執行された「第21回参議院議員通常選挙」において、与党が総議席の過半数を割り込むことにはじまり、「第45回衆議院議員選挙」において、野党が過半数を獲得したことで政権交代につながりました。現状の参議院(定数248)の議席数を踏まえると、次期、参議院議員通常選挙における与党の改選議席数は66であり、5議席を奪取すれば改選過半数割れとなります。

さらに、現時点での参議院における与党の総議席数は141のため、18議席を奪取すれば与党過半数割れに追い込むことも可能となってきます。

このような時だからこそ、生活者優先の政策を進める政党・政治家を選ぶことが必要と考えています。

引き続きのご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。

2025.1.27